

保健科学研究科

保健科学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、豊かな人間性とともにより実地臨床に役立つ新しい知識・技術を有し、人々の健康の維持・増進に資する高度な実践力・研究力を獲得することができる、次のような人を求めています。

【博士前期課程】

保健科学研究科博士前期課程では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、実地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ・生命の尊厳を尊重し、健康の維持・増進を援助する使命感と医療人としての豊かな人間性を有する人
- ・学士課程の教育によって修得した保健学の知識を、博士前期課程においてさらに深め、高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲の高い人
- ・生命倫理や高い人権意識を獲得し、高度医療の現場において指導的役割を果たす意欲の高い人

【博士後期課程】

保健科学研究科博士後期課程では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、実地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ・臨床応用を志向し、かつ健康増進と疾病の予防、医療、回復支援及び生活支援に資する学問を推進、発展させることに意欲を持っている人
- ・従来の学問の枠組みでは対応しきれない新しい医療に果敢に取り組む気概のある人
- ・最新の医療に関する知識を吸収・理解する熱意と能力を有し、将来、保健科学における教育者、研究者を志望する人

保健科学研究科 保健学専攻 博士前期課程 【修士（保健学）】

保健学専攻では、実地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲の高い人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

医療人としての豊かな人間性を有し、これまでに修得した知識や技能に基づき、適切に判断し表現することができる人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

自ら学ぶ姿勢を持ち学際的に協働できる人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<社会人入試>

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<私費外国人入試>

口頭試問では、語学力（日本語、英語）および専門分野に関する知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

保健科学研究科 保健学専攻 博士前期課程 【修士（看護学）】

保健学専攻では、実地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲の高い人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

医療人としての豊かな人間性を有し、これまでに修得した知識や技能に基づき、適切に判断し表現することができる人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

自ら学ぶ姿勢を持ち学際的に協働できる人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<社会人入試>

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。
面接は、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<私費外国人入試>

口頭試問では、語学力（日本語、英語）および専門分野に関する知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

保健科学研究科 保健学専攻 博士後期課程 【博士（保健学）】

保健学専攻では、実地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲の高い人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

医療人としての豊かな人間性を有し、これまでに修得した知識や技能に基づき、適切に判断し表現することができる人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

自ら探求する姿勢を持ち学際的に協働して研究することができる人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。
面接は、試問試験を含み、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<社会人入試>

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。
面接は、試問試験を含み、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<私費外国人入試>

口頭試問では、英語力および専門分野に関する知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<英語プログラム（渡日前）私費外国人留学生入試（4月入学、秋入学）>

書類審査及びインターネットインタビューによる面接では、英語の読解力・表現力、専門分野に関する知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<英語プログラム（渡日前）国費外国人留学生入試（4月入学）>

書類審査及びインターネットインタビューによる面接では、英語の読解力・表現力、専門分野に関する知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。